

まちが好き 共に生きて 笑顔あふれる やまつりまち

3

March
2024

令和6年3月1日発行
(毎月第1金曜日発行)
No.756

広報

やまつり

Public
Relations
Yamatsuri

【特集】(p2-9)

leave no one behind
「誰一人取り残さない」デジタル社会の実現を目指して

【Health Information】(p10-11)

3月は「自殺対策強化月間」です

【pickup topics】(p12-13)

令和5年度地域魅力向上発信事業を
実施しました

【行政NAVI】(p14-15)

『矢祭もったいない市場』が
各会場で開催されました

【地域おこし協力隊活動ダイアリー VOL76】(p16-17)

Main presenter
藤谷隊員・川瀬隊員・大羽隊員・鳴瀬隊員



【特集】 **leave no one behind**
 「誰一人取り残さない」デジタル社会の実現を目指して

**子どもICTアドバイザー
認定プロジェクト開始**

令和2年12月、政府において「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が決定され、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタル社会の活用により、一人一人のニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会へ誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化へ」が示されました。

また、令和4年6月には、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定され、このビジョンが指すべきデジタル社会のビジョンとして改めて位置づけられました。

その中で矢祭町では、「誰一人取り残さない」デジタル社会の実現を目指して、矢祭中学校の生徒を高齢者向けのデジタル教育の指導役を担う『子どもICTアドバイザー』として育成する認定プロジェクトを開始しました。

『子どもICTアドバイザー』認定プロジェクトは、デジタルスキル（ICTに関する知識やデジタル機器等を扱う技術）を活用して町の困りごとを解消し、町の活性化を推進できる人材を、町独自の資格である『子どもICTアドバイザー』として認定する取り組みです。

町には、子ども司書や子ども議会など、子どもが様々な経験を通じて活躍できる文化が根づいており、それらに続く『子どもICTアドバイザー』を新たに創造し、矢祭町でしか得られない経験・教育を提供できる環境の構築を進めています。

中学生がデジタル分野で講師を務め、高齢者に指導する取り組みは県内で初となっており、矢祭中学校にて特設デジタル部として活動しています。



【ICT】
 Information and Communication Technologyの略。情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称。

町としてデジタルリテラシーの

【※1】地域活性化企業人
首都圏など、三大都市圏に勤務する企業の社員が、そのノウハウや知見を活かし、一定期間、地方自治体において、地域独自の魅力や価値の向上、安心・安全につながる業務に従事することで、地方自治体と企業が協力して地方圏へのひとの流れを創り出し、国が必要な支援を行う制度。

【※2】デジタルデバイス
インターネット等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間にもたらされる格差のこと。

【※3】デジタルリテラシー
デジタル技術を理解して適切に活用するスキル。

現在、『子どもICTアドバイザー』を目指す3名の生徒が資格認定に向け、特設デジタル部の活動の中で研修やレベルアップテストを通してデジタル技術について学んでいます。また、福島県と矢祭町の協働により開催されたスマホ教室の中で特設デジタル部の生徒が疑問や不明点等に対して直接的なサポートを行うなど、より実践的な活動もしてもらいました。

今後は『子どもICTアドバイザー』の活動の場を広げるため、親子プログラミング教室の開催を考えています。メインは子どもたちの教育ですが、親御さんにも参加していただくことでコミュニケーション



▶田中さんの講義を受ける特設デジタル部の生徒

様々なデジタルに触れる機会を創出

ケースションを取る場所にもなり、様々なデジタルに触れる機会を創出することができます。

また、『子どもICTアドバイザー』が運営側になってもらうことで町としてデジタルリテラシー(※3)の底上げを図ることができるとも良い取り組みになると考えています。

底上げを目指す

変化する時代に向け、現代はデジタル化が最適

日本に限らず世界においてインターネットを使った情報交換や仕事の仕方などが主流になっており、今までのやり方では対応できない時代がすぐに来ることが予想されます。そうした中で、自治体が今までのやり方をしている、いつかは国の方針により、自動化や効率化を図るため、仕事の仕方を変える必要が生じてきます。

また、日本特有の課題としては少子高齢化社会であり、生産年齢人口が目に見えて減少していく中で、今まで5人でしていた仕事を4人でしなければならぬ状態となるなど、いずれ人手不足になることが懸念されています。



矢祭町 ICT アドバイザー
田中勇介 さん

【Profile】
たなかゆうすけ。
AKKODIS コンサルティング
トレーニングサービス部。
地域活性化起業人(※1)
として主に地方自治体を支援。

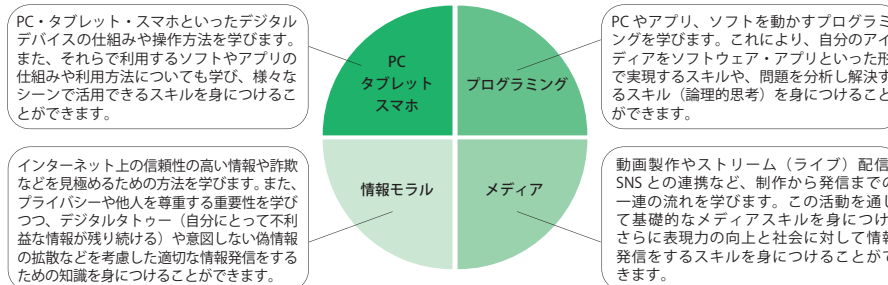
今のうちから自動化できるところは自動化、効率化を図れるところは効率化をしていく必要がある、その手段として今の時代ではデジタル化が最適と考えられています。今までなかった物やシステムなどが一気に現れる現代社会で自治体が出遅れてしまうと、町内の企業や子どもたちの教育現場等におけるデジタルデバイス(※2)問題の解消ができなくなる恐れがあります。

デジタルデバイス問題の解消に向け、『子どもICTアドバイザー』認定プロジェクトを通して、今のうちから子どもたちにはデジタルに慣れ、いずれは自分たちだけで町内の方々に対して支援ができるまでになってもらいたいと考えています。

特設デジタル部活動内容

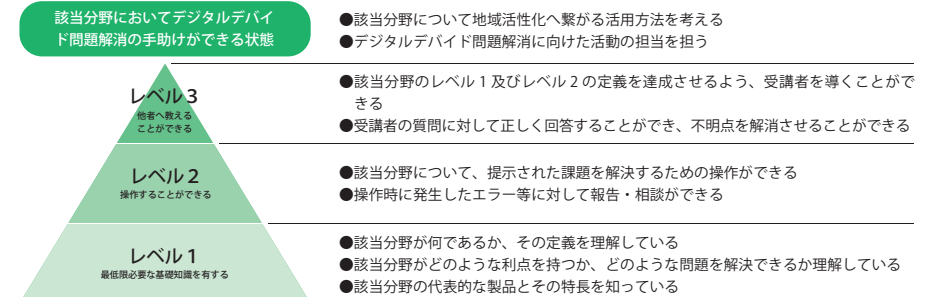
これからの社会で必要となるデジタルスキルを身につけることを目的として活動しています。主な活動内容については下記のとおりです。

活動日時▶毎週金曜(15時~17時)
対象者▶中学生(今後対象範囲を拡張予定)
利用端末▶学校貸与タブレット、PC、スマートフォン
活動拠点▶矢祭中学校



子ども ICT アドバイザーの定義

子ども ICT アドバイザーは、情報を正しく扱い、デジタルツール(デジタル技術を活用して業務効率を向上させる手段全般)の有益な使い方を理解しており、まちのデジタルデバイス問題解消の助けがができる人材を示しています。認定までのレベル定義については下記のとおりです。



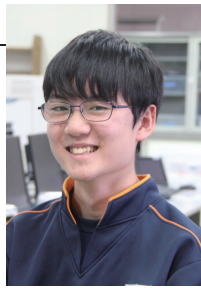
ICT 機器を活用し、色々なことにチャレンジしていく

僕は人に教えることが好きで、将来は教育関係の仕事または前から興味のあったエンジニアの仕事をしてみたいと思っており、どちらの職業においても今後はICTを学ぶことが重要と考え、特設デジタル部に入学しました。

普段からインターネット等を利用する中で少しはICTについて理解しているつもりでしたが、活動を通してPCの操作方法や仕組み、セキュリティなど初めて知ることがたくさんあり、今ま

で以上に多くの知識を身につけることができました。特にセキュリティ面の学習については印象深く、今後はICT機器を利用する際は十分に注意し、活用していきたいです。また、ICT機器を使って色々なことにもチャレンジしていきたいと思います。

今後は、特設デジタル部で学んだことを活かして分からない人に教えるなど少しでも貢献できることがあればいいなと思っています。



Ryuto Toda

矢祭中学校3年
戸田隆翔さん



Sayaka Kumada

矢祭中学校2年
熊田紗也香さん

積極的に困ってる人の手助けがしたい

私は動画を作ることに興味があり、特設デジタル部に入学する前から誕生日の動画などを作っていました。しかし、独学で作った動画は納得のいく仕上がりとならず、教えてくれる人がいればいいなと思っていた時にちょうど矢祭中学校で特設デジタル部が創設されるという話を聞き、入学することを決めました。

指導してくれる人がいると分からないこともすぐに聞くことができ、専門的なアドバイスのもと納得のいく動画編集が

できるようになりました。また、活動では動画編集だけでなく、編集の際に使用するICT機器のセキュリティについても学ぶことができ、セキュリティ強化が特に重要であると感じました。

今後は、人と話すことが好きなので、ここでの経験を活かし学校の授業や高齢者でICT機器に苦手意識のある方がいたら、操作方法を教えるなど積極的に皆さんの手助けをしていきたいと思っています。



子どもICTアドバイザーの
資格認定を目指す生徒たち



Tomonori Satou

矢祭中学校3年
佐藤友紀さん

特設デジタル部の経験を活かし、動画編集の仕事がしたい

今後、学校でコンピューター操作などのICT教育が必須科目になるという話を聞き、ICTはとても重要なことと考え特設デジタル部への入学を決めました。

部の活動を通して特に動画編集の技術が上がったと感じています。活動の中でやまつきこども園の運動会をタブレットで動画におさめ、編集作業を行いました。

また、活動の中には座学もあり、機器の違いや基本操作等を学ぶ良い機会となりました。学んだことを確かめるテスト

では他の部員と点数を競い合うなどの楽しみもあり、とても印象に残っています。

将来は動画編集の仕事をしたいと考えているので、この部での経験を活かしていきたいです。

子どもICTアドバイザーとして認定を受けたら、スマホ教室などの活動に積極的に参加してICTの知識や技術の向上とともにコミュニケーション能力を高めていき、社会に役立つスキルを培っていきたいです。



▶ 園児の活躍を動画に収める佐藤友紀さん

園児たちの頑張りを撮影・編集をして保護者に無償で配付するなど、地域社会に大きく貢献してきました。

これらの活動を通じて、子どもたちはただ技術や知識を習得しただけでなく、それらを地域社会のために活かすことの大切さを学びました。担当者としての成果はとても満足のできるものであり、また一保護者としては、町がこのような制度を設けてくださったことに、とても感謝しております。

この取り組みが、子どもたちの未来にとって有意義な学びの場となり、町民の皆様を豊かにすることに繋がっていく事を心から願っています。今回認定予定の彼らを始め、今後彼らに続いていく子どもたちの頑張りと成長を、温かく見守っていただければと思います。

今回、第一期生として特設デジタル部の3名の生徒が認定される予定ですが、彼らは最初からICTに関する深い知識や技能を持っていたわけではありません。しかし毎回の講座を熱心に受講することで多くの知識を得て、認定条件として課した全ての試験で満点を取るという素晴らしい成果を挙げました。また、高齢者向けのスマホ教室では、アシスタントとして活躍し、こども園の運動会では、

平成21年度から町内の小中学校等でパソコンの操作やプログラミングの指導をさせて頂いており、上記の3名とは小学校1年生でパソコンでお絵描きをした時からの付き合いになります。(うち1名は、生まれた日からの付き合いです)

地域社会に活かすことのできる 大切さも学ぶことができる



Yutaka Satou

矢祭町学習支援員
佐藤裕さん

若く斬新なアイデアを町の

未来に活かしたい

【※1】AI（人工知能）
人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム、あるいは人間が知的と感じる情報処理・技術といった広い概念。

【※2】IoT
従来インターネットに接続されていなかった様々なモノ（建物、車、家電製品、電子機器など）が、ネットワークを通じて相互に情報交換をする仕組み。

【※3】STEAM教育
STEAMとは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）の5つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念です。これら5つの分野の学習を通して、子どもを今後のIT社会に順応した競争力のある人材に育てていくための教育方針を指します。

『子どもICTアドバイザー』認定プロジェクトでは、AI（※1）やIoT（※2）が普及する時代に活躍できる人材を育てるために文部科学省が推奨するSTEAM教育（※3）を軸にデジタル部の活動を通して、知る体験（PC、スマホ、セキュリティなどの研修を通して知識を身に付ける）、創る体験（スマホ使い方講座などの企画や運営）が実施されており、能動的に学ぶ機会が提供されているため、今後、子どもたちが社会を生き抜いていく上で必要な力を育てることができると重要な役割を果たしています。

『子どもICTアドバイザー』としての知識に加え、これまで学習してきた各教科等の力を活かして、町や県、国の課題を捉え、どうしたら解決できるか考える活動を展開していくことも期待されます。

今後、今年度始まったとして、部（もったいない図書館で活動し、読書推進はもちろん、STEAM教育で町の課題解決のための施策を考えています）の活動とリンクさせ、子どもたちの若く斬新なアイデアを町の未来づくりに活かしていきたいと考えています。

STEAM教育を軸に
知る体験・創る体験が可能

課題解決に向けた
活動の展開に期待

今年度始まった『子どもICTアドバイザー』認定プロジェクトには、各方面から様々な期待が寄せられています。

まずは、ICTに関して、『子どもICTアドバイザー』の資格をとった中学生が高齢者に教える場面が増えるということです。ICTを覚えるのに抵抗がある高齢者の方々にも、孫のような中学生に教えてもらうことで親近感が湧き、前向きに取り組むことができます。今年度実施されたスマホ教室の中でも特設デジタル部の生徒から直接的なサポートを受けた参加者の方々



▶スマホ教室で参加者をサポートする戸田隆翔さん

アイデアを活かした
様々な広報形態の確立

は、普段よりも前向きに取り組んでいたように感じています。

また、町のPRなどの動画制作をはじめとして、中学生のアイデアを活かした様々な広報形態を確立することもできると感じています。



矢祭町教育委員会
菊池篤志 教育長

【Profile】
きくちあつし。
令和4年4月より矢祭町の教育長として着任。モットーは「人に優しく、仕事に厳しく」。趣味は音楽鑑賞、スポーツ観戦など。

子ども ICT アドバイザー 認定書交付式

子ども ICT アドバイザー 認定書交付式については、2月29日（木）に実施を予定しているため、次号の広報やまつりにてお伝えさせていただきます。なお、認定者には、認定書及び認定バッジが贈呈されます。

【認定条件】

- レベル3 認定の分野を1つ以上保有している
- 「セキュリティ」「情報倫理」レベル1 認定を保有している
- デジタルデバインド問題解消の手助けを行った実績がある



▶子どもたちがデザインしたバッジ

就職や町への貢献に役立ててほしい

特設デジタル部は、今年度、こども園の運動会にてビデオ撮影、お年寄りへのスマホ教室に参加、校内向けホームページの制作など活動の幅を十分に広げました。現在の活動をベースにしながら次年度はできることを増やしてほしいです。

今後は、まず今の先輩から後輩へ技術面や活動自体の引き継ぎを確実にを行い、部員が増えるように広報を頑張してほしいと思います。そのうえで、技術の向上を図り、日常使いはもちろんですが、専門的に上級学校で学び、将来は就職や町への貢献に役立ててほしいと考えています。

また、認定後は『子どもICTアドバイザー』として取得したICTスキルを活かしてお年寄りの役に立ち、それを町の発展につなげ、生徒の自己有用感を向上させてほしいと思います。

さらに活動を通して町への愛着を深め、将来役に立つ問題解決能力や創造力を育てることができるととても頼もしいです。



矢祭中学校
安部孝 校長

【Profile】
あべたかし。
令和5年4月より矢祭中学校長として着任。

部員募集

特設デジタル部では、随時新たな部員を募集しています。運動部の活動がない日に特設デジタル部の活動を実施しているため、運動部との兼部も可能です。興味のある生徒もしくは保護者の方は、お問い合わせください。

【問い合わせ】 自立総務課企画財政グループ ☎46-3131

3月は「自殺対策強化月間」です

悩みや不安を抱えたら、相談できる場所がある

国では、毎年3月を「自殺対策強化月間」と定めており、国、県、市町村、関係団体などが連携して、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現に向けて、自殺予防の取り組みを行っています。

【県】

● 福島いのちの電話（通話料有料）024・536・434

3（年中無休（10時～22時）、第3土曜日（24時間（10時～翌日10時まで）対応）

● 福島県精神保健福祉センター（通話料有料）024・53

5・5560月～金曜日（9時～17時）対応

【国】

● #いのちSOS（フリーダイヤル・無料）0120・06

1・338（月～水曜日及び木曜日（6時～24時）対応）

● よりそいホットライン（フリーダイヤル・無料）0120

・279・226（24時間対応）

※電話で相談しづらい方は、LINEやオンラインチャット

【町】心の健康相談会（月1回）（事

相談場所

また、あなたの周りの方が悩みを抱えていることに気がついたら、声をかけ、傾聴してください。

困っている場合は、気軽に相談できる場所があります。ひとりで悩まず、相談してください。

【町】心の健康相談会（月1回）（事

※電話で相談しづらい方は、LINEやオンラインチャット

相談してみた。少しほっとした。


人に話すことで、心が軽くなるかもしれません。匿名でも大丈夫です。電話でも、SNSでも相談できます。




トなどでの相談窓口もありません。「まもろうよこころ」で検索してみてください。QRコードからもホームページを閲覧することができます。ぜひ、ご活用ください。

令和5年度子ども予防接種週間

3月1日～7日は、「子どもの予防接種週間」です。この週間は、子どもに対する予防接種への関心を高め、予防接種の実施率の向上を図ることを目的に公益社団法人日本医師会・公益社団法人日本小児科医会及び厚生労働省の主催により実施する事業です。ワクチンで防ぐことができる病気があります。予防接種は決められた時期にうけるようにしましょう。




参加費無料 矢祭町介護予防教室「わんあっぷ」 先着20名

体力測定

【日程】令和6年3月8日（金）

【講師】菊地健太氏（株式会社はなひろ理学療法士）

【内容】①筋力・体力測定（握力、柔軟性等）②筋力トレーニングのちょっとした秘訣③自宅でできるトレーニング指導




スポーツ・レクリエーション

【日程】令和6年3月22日（金）

【講師】渡邊哲氏（株式会社はなひろ理学療法士）

【内容】①全身を使った体操②器具を使ったレクリエーション③ポッチャ、スカットとゴルフ等



会場▶保健福祉センター大会議室/定員▶各回先着20名（要予約）
開催時間▶13時～15時/持ち物▶水分、タオル、動きやすい服装、やまっぴーカード
【参加申し込み・お問い合わせ】
矢祭町保健福祉センター町民福祉課健康づくりグループ（担当▶菊池） ☎46-4581
※お申し込みは先着順、参加費は無料です。また、感染対策等は各自任意で行ってくださいますようお願いいたします。

100歳のご長寿を祝い 百歳高齢者賀寿贈呈式

1月23日（火）、2月7日（水）及び13日（火）に特別養護老人ホームユーアイホーム、藤井ハイム矢祭、高澤キヌさん宅において百歳高齢者賀寿贈呈式が行われ、満100歳を迎えられた永山イサヲさん、本多キヨさん、高澤キヌさんに福島県及び町の賀寿・記念品、町社会福祉協議会・高齢者クラブ連合会及び各施設、ご家族からの記念品等がそれぞれ贈呈されました。

※左記写真は上から永山イサヲさん、本多キヨさん、高澤キヌさんの順に掲載しています。




事業を実施しました

都心の方々を中心に矢祭町の人や野菜の魅力を発信

矢祭町農産品販売を通じた矢祭町PR事業

風評被害の払拭と福島の復興・再生を加速させることを目的として行われている復興庁の地域魅力向上・発信支援事業を活用し、令和6年1月10日（水）から12日（金）までの3日間、JR品川駅改札内において矢祭もつたない市場販売会を開催しました。



昨年度に引き続き2回目

の開催となり、1日約25万人が利用する品川駅で多くの皆様にお越しいただきました。

この事業では都心に向けた魅力発信により、矢祭町への交流人口の創出も目的としています。矢祭ふるさと会、町内生産者やもつたない市場のファンの方々にご協力頂き、駅利用者と直接対話しながら矢祭町を知ってもらい、食や人の魅力を存分に伝える事が出来ました。売り上げに関しては、昨年度の160万円の売り上げには及びませんが、3日間でトータル約130万円を売り上げる事が出来ました。

また、販売会と同時期にエキキュート品川では矢祭産いちごを使用したストロベリーフェアを開催しました。



エキキュート内12店舗にご協力いただきまして、福島県産品の「ゆうやけベリー」をはじめ、「とちおとめ」を使用したケーキやどら焼き、カヌレなどの商品を販売いたしました。

次年度については、品川駅構内での販売会を夏と冬の2回予定しております。矢祭ならではの食の魅力や



人の魅力に触れることができる機会として、矢祭のお母さんたちが作る「おもてなし料理」をふるまうモニターツアーも実施します。今年度以上に矢祭を知ってもらおう、来てもらう、食べてもらう企画を実施して行く予定です。

これからも矢祭町の人の魅力や美味しい野菜を都心の方々に知って頂くために事業を展開していきます。

町の魅力など町民自らが情報発信 矢祭ブランド会議を通じた人財育成事業

矢祭町の潜在的魅力を磨き上げ、町民自らが町の魅力など情報発信できる体制を整えていく事を目標に、令和5年11月に矢祭ブランド会議がスタートしました。

第1回目では、Discover Japan編集長高橋氏による地域ブランディングに関する講演会や、「私が思う、矢祭の魅力と課題」と題したグルー

プデイスカッションを行いました。町内生産者や地域おこし協力隊、福島大学生、元役場職員など、様々なキャリアを持つ12名が参加。参加者からは久慈川、滝川溪谷、戸津辺の桜といった自然にまつわるもの、鮎やいちご、柚子、この、鮎やいちご、柚子、このつわるもの、そして地域コミュニティ、職人気質など地域性にまつわるものなど

意見がありました。一方、人口減少、プレイヤー不足、交通の便が悪い、アピールが苦手、交流拠点が少ないといった課題も浮き彫りになりました。

1月に実施した第2回「矢祭ブランド会議」では、「Discover Japanから見た福島・矢祭町の魅力」をテーマとしたトークセッションと、矢祭町で挑戦したい企画を考えるワークショップを行いました。14名が参加し、矢祭町ならではの魅力が掛け合わせ、参加者自信が挑戦してみたい企画をグループごとに話し合いました。参加した町民の方からは「クリスマスにユズを木に飾る『やまつり』や『こんにゃくづくり体験』、「東館駅前でのビアガーデン」



など、観光客と町民が一緒になって楽しめるユニークなアイデアが続出し、大変盛り上がりました。

矢祭ブランド会議については次年度も今年度の内容を踏まえた事業の展開を予定しており、町民が矢祭の魅力を見直し、誇りを持って魅力発信できる人材の育成を目指します。

令和5年度地域魅力向上発信



『矢祭もつたいたい市場』が 各会場で開催されました

「ふるさと交流ショップ(台東) 東京都台東区が運営する『ふるさと交流ショップ(台東)』に2月1日(木)から6日(火)にかけて『矢祭もつたいたい市場』が来店されました。

昨年に引き続き2回目の出店となり、矢祭産のしいたけやたまご、さつまいもなど数多くの商品が販売され、商品を購入してくださった方には、先着順で日替わりの粗品が配付されました。



【三輪里稲荷神社】
2月12日(月)、こんにやくを介して大子町と繋がりがあ
る三輪里稲荷神社(別名:こんにやく稲荷)の初午祭に『矢祭もつたいたい市場』が初めて参加しました。
当日は、矢祭産の新鮮な農産物や野菜加工品等の販売に加え、大子町よりこんにやくおでんのおふるまいなども行われ、会場を訪れた多くの方々で賑わいました。

矢祭町議会議員一般選挙 3月24日(日) 投票開票で執行予定

矢祭町議会議員一般選挙が3月19日告示予定です。
投票日 3月24日(日)
投票時間 午前7時~午後7時(高野谷地投票所は午後6時まで)
期日前投票日 3月20日(水)

3月23日(土)
期日前投票時間 午前8時30分~午後8時
期日前投票所 役場駐車場内
問い合わせ 選挙管理委員会
☎46・3131

投票所一覧	
第1投票所 矢祭町山内開発センター	第5投票所 中石井多目的集会所
第2投票所 上関河内健康ふれあい館	第6投票所 高野谷地多目的集会所
第3投票所 高城構造改善センター	第7投票所 下石井多目的共同利用施設
第4投票所 内川保健福祉館	

地域産業を活性化する 取り組みを応援します

矢祭町に眠る地域資源等を活用した「地域産業」の活性化に取り組み団体を支援しています。地域に眠る宝を活かした矢祭町の活性化に取り組んでみませんか?

【補助対象事業】

- ①矢祭町の地域産業の振興を図るものであること。
- ②事業そのものに新規性があること。
- ③長期的、継続的な取り組みを念頭に置いていること。

【補助対象事業者】

- ①複数名からなる団体で、過半数が矢祭町民であること。
- ②関係する地域産業に従事する者が1名以上含まれていること。
- ③規約等を備え、適正な経理運用を行うことが出来ること。

【応募方法】

事業の採択を希望する団体

【締切日】

令和6年3月1日(金)~令和6年3月29日(金) までに事務局必着

【対象事業期間】

令和6年5月7日~令和7年2月28日実施分

※採択の可否については、4月下旬以降、順次ご連絡いたします。

【問い合わせ】

事業課産業グループ ☎46・4576



縁

人と人を結ぶ
えにしづくりの
きっかけを



~婚活イベント情報~ 3月号

「はび福なび」無料での写真撮影は3月末まで

紹介状用写真(写真館での)が無料で撮影できます。「はび福なび」とは紹介型システム、会員限定イベントあり、EQアセスメントを推奨をしています。
【「はび福なび」のおすすめポイント】
しっかりと本人確認・福島県が導入しているシステム・クラウド電話サービス(お見合い当日のみお二人だけに開通する通話)
【登録までの流れ】
申込(スマホかPCで仮登録)⇒登録料納入⇒必要書類提出⇒本登録【問い合わせ】
・ふくしま結婚・子育て応援センター ☎024-544-0070
・矢祭町結婚支援室 ☎46-4884

「おしゃべりカフェ」open

「おしゃべりカフェ(ジェルネイル・スキンケア無料体験など)」
日時▶3月3日(日)午後1時~午後4時
3月6日(水)午後3時~午後8時
場所▶いずれも「リフレッシュふるさとランド」
「ハッピー&スマイル研究会(心理学セミナー、ランチクッキング)」
日時▶3月3日(日)午前10時~
※町外からの参加も大歓迎です。
結婚に関する相談や婚活情報、プロフィール登録も随時受け付けております。
【展望台のライト点灯時は開催中】

結婚したいあなたを福島県が応援します

結婚マッチングシステム「はび福なび」
「はび福なび」は、福島県が導入した紹介型のマッチングシステムです。婚活を真剣に希望する男女の出会いを応援するオンライン型のシステムで、ご紹介の他にも会員限定の交流会やセミナー等も行ってまいります。
登録料10,000円(2年間)、月会費・紹介料などは無料です。
福島県内にお住いの方、近い将来福島県に移住をお考えの方で誠実に結婚を希望する20歳以上の独身男女が対象です。

【矢祭町結婚支援室】

リフレッシュふるさとランド内
☎46-4884
E-mail▶project@silk.ocn.ne.jp
(E-mailでのご相談可)

詳しい内容はQRコードまたは矢祭町HP「婚活イベント」で確認できます。



矢祭町地域おこし協力隊は、町外のさまざまな地域から集まり、地域づくりに貢献しています。

現在町内にいるのは6名。各メンバーは、JR水郡線東館駅を中心とした地域の場づくり、文化振興、地域食材を使った商品開発、読書の町づくり推進、スポーツ振興など、多岐にわたるジャンルで活動中です。

町内で協力隊の活動をお見かけの際は、お気軽にお声がけください!



Volume.76
2024.3Update

矢祭町地域おこし協力隊

活動ダイアリー

Let's go!



これまでの活動をもとに、いよいよ4月から「やまつりスポーツクラブ(やまつりSC)の名前で活動を行います。「いつでも」「誰でも」「好きなレベルで」「世代を超えて」「いろいろなスポーツを」「いつまでも」楽しむことができる地域のスポーツコミュニティができればいいなと考えています。スポーツコミュニティは、「つなぐ」をキーワードとしてつくっていきます。①家族・仲間をつなぐ(横)②子供から大人まで(縦)③過去から未来へ(時間軸)の3つを「つなぐ」ことが目標です。

活動は、健康の保持・増進、スポーツ体験、社会的交流など、様々なニーズに合った運動教室や町が活気づくスポーツイベントを考えています。また、町や園・小・中の学校行事の参加支援や部活動の地域移行にも協力していきたいと思っています。町の中にいっしょやるこんなことをやりたい。「こんなアイデアを持っているんだ。」という方々と一緒になって、一人では難しいことにも取り組んでいきたいと思いますので、お声がけいただければうれしいです。

こんにちは!読書の町づくり担当の大羽です。あつという間に年度末1年が過ぎるのはやさに驚いています。

さて、私が今年1年取り組んでいたことのひとつに矢祭小学校での子ども司書講座があります。小学校で司書の仕事や本にまつわる授業を行ってきました。授業の内容も新しく考え直し、「この本見つけて!名たんていさん!」や、「レファレンス王になろう」など、楽しく本に関われるような内容になるよう心がけました。そのおかげか、授業に楽しく参加してくれる子どもも多く、とても嬉しかったです。そんな子ども司書講座も2月19日に認定式を迎え、今年度の授業もすべて終わりました。今年度から始まった授業としての子ども司書講座が無事に終わって良かったです!子どもたちから読書のわが広がるといいなあと思います。

私たち地域おこし協力隊の活動報告会が3月15日(金) ユーバル矢祭イベントスペースにて行われます。ここまで私の記事を読んでくださっているみなさん!ぜひ遊びに来てください!



矢祭町で主に大正時代を通して作られてきた手元焼の調査を、地域おこし協力隊の事業として行ってきました。最近はその手元焼の意義をまとめる作業をしています。この広報のコラムでも、何回か手元焼の特徴について記してきたように、考古学や陶芸史として評価される文化財であるよりは、伝統工芸における創作を追求した作家の仕事として、一人で一代限りの作陶の意義を作者・豊田六之助に見ています。

今後できるならば、その創作の内実に踏み込んで、工芸品の基本である日用品器物の造形性を追求し、展開するような復興の動きが期待されます。六之助の作品を範として、六之助の成果を受け継ぎ、六之助が見たイメージを共有できる創作活動が望まれます。伝統における技術の継承は重要です。さらにはその伝統性が生きて働いているビジョンの全体性を感じることが重要です。その伝統の本質が復興の主旨となります。

こんにちは!ヒガンダテ待合室の藤谷です。2月11日(日)に、一日限定のヒガンダテカフェをオープンしました!今回のイベントは、まだまだ寒い日に暖かい待合室でゆっくりくつろぎながら、ご用意した飲み物とデザートを楽しんで貰えたらと思い企画しました。カフェのメニューは、矢祭町内で人気の2店舗にお願いしました。ドリンクは珈琲香坊さんの期間限定”バレンタインブレンドコーヒー”を、デザートは菓子店いちごさんの矢祭産の苺がたっぷり入った”苺のクリームサンド”をご用意しました!10時オープンと同時に続々とご来店いただき、待合室はあつという間に満席に!嬉しいことに午前中には完売しました!子ども達も沢山来てくれて、美味しくて笑顔溢れるヒガンダテカフェはまたいつかオープンしたいなと思っています。

通常の待合室では、インスタントコーヒーや紅茶など数種類の飲み物をフリードリンクをご用意しています。どなたでも利用可能ですので、是非お気軽にお立ちよりくださいませ!



鳴瀬望 Nozomu Naruse
スポーツ振興担当

山形県鶴岡市出身。前職は小学校教員。トレイルラン、スキューバダイビング、旅行(海外)、ドラマを見るのが好き。

大羽未准 Minoru Ooba
読書の町づくり担当

愛知県岩倉市出身。教育系の大学を卒業後、矢祭に来ました。好きなことは、読書、人とお話しすること、散歩。



川瀬孝之 Takayuki Kawase
文化財振興担当

静岡県浜松市出身。前職は書道用品店経営。趣味は、音楽鑑賞とお茶など。

藤谷麻莉 Mari Fujiya
地域の場づくり担当

福島県いわき市出身。前職はアパレル関係。食べ歩き、登山、ピアノ、水泳が趣味。



ゆっくりうた様

LIBRARY LETTER

2024

3

図書館だより

お花見の季節がやってきた！
ぼかぼか陽気の中で、読書はいかが？

Text & Design: 大羽未准 (地域おこし協力隊)

PICK UP

2024.2.19 Mon.

第15期子ども司書認定式を行いました！



4月から始まった矢祭子ども司書講座が終わり、矢祭小6年生が矢祭子ども司書に認定されました！講座では本の分類やレファレンスなど司書の仕事を勉強しました。さらに学年でミニビブリオバトルを行いました。原稿作り、クラス予選、全体での決勝戦と、それぞれが自分の紹介する本を読みたいと思わせられるよう頑張りました！これからは矢祭子ども司書として、読書のわを一緒に広げていきましょう！

EVENT

3.7 THURSDAY

2024.3.7 Thu. 10:00 - 12:00
あかちゃん/プレママップレバ
おはなしかい

もったいない図書館 特別書庫

3.17 SUNDAY

2024.3.17 Sun. 10:00 - 11:00
3月出前おはなしかい
中央団地文庫 小田川文庫

3.21 THURSDAY

2024.3.21 Thu. 10:00 - 12:00
大人のためのおはなしかい
もったいない図書館 特別書庫

RECOMMEND

ビブリオバトルとは...



おすすめの本を持ちよって、5分間本の魅力を発表、ディスカッション。話を聞いて、一番読みたくなった本への投票を行い、チャンプ本を決めるといふもの。新しい本との出会いにぴったりで、県大会や全国大会も行われています！

INFORMATION ● 今月の休館日：毎週月曜日 ※祝日開館

お問い合わせ：矢祭もったいない図書館 ☎ 46-6466 FAX: 57-7500



まちの駅 やまつり

利用無料

休憩スペース

トイレ

営業時間

平日 8:30 ~ 17:00



Facebook

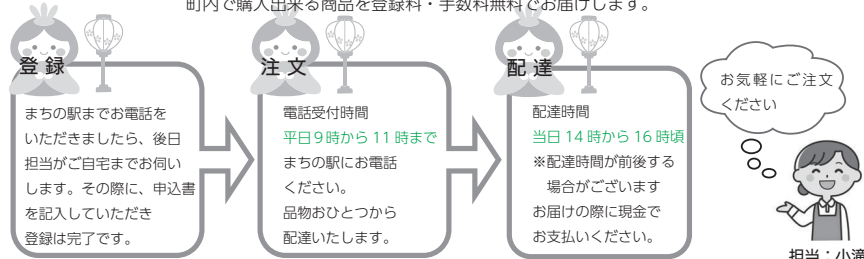
■休憩スペース (無料)

ちょっとした休憩やトイレ、フリー-Wi-Fiの利用、コーヒー・紅茶等の無料提供、地域の観光案内、もったいない文庫の取り扱いも行っています。待ち時間やお買い物の途中など、お気軽にお立ち寄りください。

【買ってくっぺ便】には、買い物代行と移動販売があります

■買い物代行

お買い物にお困りの方はまちの駅やまつりまでお電話ください
町内で購入出来る商品を登録料・手数料無料でお届けします。



【問い合わせ】

まちの駅やまつり ☎ : 0247-57-5659 FAX : 0247-57-5660

■移動販売

●到着時間が前後する場合があります

お菓子、お惣菜、日用品など取り揃えております



担当：柴田

<p>●到着時間が前後する場合があります</p> <p>月曜日 ★内川地区 ・菊池 洋さん宅前 (13:30頃) ・金澤 利光さん宅 (13:45頃) ・芳賀 きよ子さん宅 (14:30頃) ・古市 勝弥さん宅 (14:40頃)</p>	<p>火曜日 ★石井地区 ・やまつりファーム (13:30頃) ・下石中野内地区 (13:45頃) ・和田 始子さん宅前 (14:00頃) ・櫻の苑 (14:10頃) ・舟見地区 (14:30頃) ・せせらぎ荘 (15:00頃)</p>	<p>水曜日 ★宝坂・追分地区 ・竹野内地区池の前 (13:30頃) ・古市園芸前 (14:10頃) ・鶴ヶ池バス停 (14:40頃) ・古市 文雄さん宅前 (15:00頃) ・追分地区 (15:15頃)</p>	<p>木曜日 ★下関・大坂地区 ・中山ニュータウン (13:30頃) ・沼田 ミチ子さん宅 (14:00頃) ・天神前バス停 (14:20頃) ・古市理容室前 (14:30頃) ・佐川商店前 (14:50頃) ・折屋 (15:40頃)</p>
--	--	--	---

※大雨、大雪の日は運行を休止する場合があります。また、予告なしに運行を休止する場合がございます。

俳句 ふきの芽句会

春隣子どもも議会に光さず
雪どけに雀おり来て土匂う

大森 泰幸

前山に我が名呼びしかアオジ鳴く
雪よ来い冬を語りし季語通し

鈴木 良夫

音もなく子にせがまれて餅をつく
辛酸や富士にかかるは波の花

金沢 タツ

つかの間の真綿は水となりけり
花村 泉月

花村 泉月

川柳 山野井金沢鶴亀会

今日もまた願いの叶う事もなく
初詣で願ひ叶うようよく拜む

陸 男

よい夢を見てねむれるよ叶うよに
叶いたいガン克服に意気示す

マスノ

いつの日も夢を叶えと願いつつ
クロリティー親方の夢叶わない

桑 雄

奈美子

短歌 矢祭町短歌会二月詠草

地震とは恐ろしきもの中三の
子らを送り出す輪島の家族

松本 義勝

道の辺の寒桜はや咲き初めて
艶めかんとす春の光に

深谷 絹子

大ぶりの柚子をふわりと湯に浮かべ
手足伸ばせば心ほぐるる

佐川 文江

平穏な日々感謝の心持ち
己を見つめ前向きに歩む

星 初枝

戦没者の遺骨の混じる土砂まで使い
国は辺野古の海埋め立てる

齋藤 吉民

わが膝にもこもこおしりの曾孫きて
「これはなあに？」と絵本を開く

片野 税子

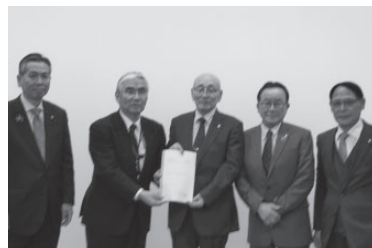
阿武隈の山並み高く雪化粧
朝日に映えて光かがやく

片野 盛好

東電に対して要求書を提出

▶ 福島県東白川地方町村会要求書手交式

2月6日(火)、佐川町長ら4町村長が東北電力ホールディングスに対し、福島第一原発事故に伴う県南地域への追加賠償やアルプス処理水の海洋放出の安全対策強化、山林等の除染の費用負担などを要求し、4町村長連盟の要求書を提出しました。



安心、安全なまちを目指して

▶ 矢祭町交通事故死者ゼロ二千日達成表彰式

2月9日(金)、役場町長室において矢祭町交通事故死者ゼロ二千日達成表彰式が行われ、平成30年8月2日から死亡事故ゼロ日数を継続し、令和6年1月23日午前0時をもって二千日を達成したことを受け、県交通対策協議会長(県知事)からの表彰状が県南交通対策協議会長より伝達されました。

緊張しながらも堂々と発表

▶ 令和5年度矢祭町子ども議会

2月14日(水)、役場議場において令和5年度矢祭町子ども議会が開催され、町執行部及び藤田町議会議長が出席する中、子ども議員(矢祭小学校5年生)33名が登壇し、行政に対する質問や提案などを緊張しながらも堂々と発表し、町当局へ答弁を求めました。

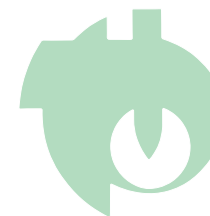


山村開発センター等で申告相談がスタート

▶ 所得申告相談(所得税・町県民税)

2月15日(木)から毎年行われている所得申告相談が茗荷多目的集会施設、高野谷地多目的集会施設、山村開発センターを会場に開始されました。相談は行政区ごとに申告日が設定されており、3月15日(金)まで行われます。申告をしなければならぬ方は、期間内に必ず申告を済ませましょう。

TOWN TOPICS



まちの話題

身近な情報を寄せてください。自立総務課総務グループ
TEL 0247-46-3131 FAX 0247-46-3155



希少な日本刀が刀剣ファンを魅了

▶ 矢祭町刀剣展示会

1月27日(土)、28日(日)の2日間、ユーバル矢祭2階多目的ホールにおいて矢祭町刀剣展示会が開催されました。展示会には「会津十一代和泉守兼定」や重要美術品「古伯耆貞綱」をはじめとした選りすぐりの希少な日本刀が展示され、県内外から集まった刀剣ファンを魅了しました。

受験生ガンバレ

▶ 合格さんバッジ贈呈式

1月31日(水)、矢祭中学校において町観光協会主催の合格さんバッジ贈呈式が行われました。同月15日(木)に矢祭山公園にある夢想滝近くの合格さん地藏前で、中学校3年生の合格祈願が行われ、パワーが封入されたバッジが会長である佐川町長から生徒代表へ手渡されました。



見直し計画として適正であると答申

▶ 矢祭町総合計画見直し計画に関する答申

2月2日(金)、矢祭町総合計画審議会の深谷良太郎会長と本多春子副会長が役場町長室を訪れ、計画案について検討を重ねた結果、令和6年度から7年度までの2年間における見直し計画として適正であると答申し、答申書を佐川町長に手渡しました。

行事&お知らせ 情報局

案内

確定申告・納付期限のお知らせ

確定申告・納付はお済ですか？令和5年分の所得税等の申告・納付期限については、次のとおりです。

- 所得税及び復興特別所得税・贈与税 ▼3月15日(金)
 - 消費税及び地方消費税(個人事業者) ▼4月1日(月)
- 【振替納税を利用した場合】令和5年分の所得税等の振替日については、次のとおりです。

- 所得税及び復興特別所得税 ▼4月23日(火)
- 消費税及び地方消費税(個人事業者) ▼4月30日(火)

※納付方法や納付期限等の税に関する一般的なご相談やお問い合わせは、国税庁ホームページのチャットボット(24時間対応)や確定申告電話相談センターを是非ご利用ください。なお、左記QRコードからも国税庁のチャットボットページにアクセスできます。



問い合わせ 白河税務署 ☎0248・22・7111 (音声案内で「0」番を選択で確定申告電話相談センターへ)

自動車税種別割の減免に関するお知らせ

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等の交付を受けている方のため、使用される自動車のため、4月1日現在で一定の要件に該当す

る場合は、申請により自動車税種別割が減免されますので、4月1日(月)から納期限(5月31日(金))までの間に減免申請手続きをお願いいたします。

なお、減免となる障がい者の範囲、申請手続きなどの詳細につきましては、ホームページをご覧ください。ホームページを閲覧いただくか、福島県南地方振興局県税課税課までお問い合わせください。

問い合わせ 福島県南地方振興局県税課税課 (白河市昭和町269) ☎0248・23・1519

介護職員初任者研修受講費用貸付制度

矢祭町社会福祉協議会が独自に行う貸付制度で、受講に係る費用の全額を貸付します。

資格取得後1年以内に一括または分割により返済していただきますが、矢祭町社会福祉協議会の

介護職員として2年間勤務した場合は返済を全額免除します。

利用を希望する方は、矢祭町社会福祉協議会までお問い合わせください。

問い合わせ 矢祭町社会福祉協議会 ☎0247・34・1050

募集

シルバー人材センター 会員随時募集中

矢祭町にお住まいの60歳以上の方で、センターの趣旨に賛同された方ならどなたでも入会できます。たくさんの方の会員さんが生きがいづくりに社会貢献のためにお仕事をしています。シルバー人材センターの仕事に興味がある方は随時会員を募集していますので、ぜひお問い合わせください。

主な業務 除草作業、剪定作業、屋内外清掃作業、家事援助、農作業

問い合わせ 矢祭町社会福祉協議会

自衛官等採用試験のお知らせ

各種自衛官等の採用試験を実施します。

幹部候補生 応募資格▼自衛官募集ホームページ等でご確認ください
期間▼3月1日～4月12日
試験期日▼自衛官募集ホームページ等でご確認ください

一般曹候補生 応募資格▼18歳以上33歳未満の方
受付期間▼3月1日～5月7日
試験期日▼5月17日以降、1次・2次試験があります

予備自衛官補 応募資格▼一般・18歳以上52歳未満の方
技能・自衛官募集ホームページ等でご確認ください
受付期間▼1月22日～4月11日
試験期日▼4月6日～21日(いずれか1日)

試験会場 受付時にお知らせします
申込方法 自衛隊福島地方

協力本部白河地域事務所にお問い合わせください(自衛官募集ホームページからも申し込むことができます)

※左記QRコードから自衛官募集ホームページにアクセスいただけます



問い合わせ・申込 自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所 ☎0248・24・0372

仙台国税局では、パイ

人の動き

2月1日現在の住民基本台帳より()内は前月比

人口	5,237人 (-4)
男	2,582人 (+3)
女	2,655人 (-7)
世帯	2,086世帯 (+4)

●赤ちゃん誕生おめでとう(敬称略)

赤ちゃんの名前	誕生日	保護者	地区
藤田 りん	1/24	陽平・しおり	関岡

●お悔み申し上げます(敬称略)

亡くなられた方	籍	届出者	没月日	地区
小室 ふゆ	88	裕記	1/26	東館
鈴木ヤエ子	97	常正	1/26	下石井
丸山 信也	70	信子	1/29	関岡
古市 榮	75	早苗	1/30	内川
増子 徳雄	93	利治	2/2	茗荷
菊池 ミチ	92	貴子	2/9	宝坂
生田目友一	63	真一	2/16	内川

●今月の納税

水道使用料▶1～2月分
納期限▶4月1日(月)
口座振替日▶3月25日(月)

●あとかぎ

今月号で掲載させていただいた『子どもICTアドバイザー』に関する記事の取材を通して特設デジタル部の活動を拝見させていただきました。その中で、様々なICT機器やアプリ等を活用しながら笑顔で一生懸命に取り組む3名の生徒たちはとても有意義な時間を過ごしているように感じました。なお、3名の生徒たちがここで得た知識や経験を活かし、町を牽引する存在となることを願っております。

また、写真の提供、取材に協力いただいたみなさん本当にありがとうございます。(悠)

消防分署からのお知らせ

「火災を未然に防ぎましょう。」
テレビでは毎日、火災による被害のニュースが報道されています。3月は1年間で最も火災が多い月ともいわれています。それは空気が乾燥することに加え、風の強い日が多くなるのが原因です。また、気象条件に加え、連日寒い日が続き、毎日のように暖房器具を使用しているこの時期は、つい気を緩めがちになり、火災に至るケースもあります。矢祭町から火災を出さないために、町民一人一人が防火意識を高め、安心安全な町づくりに努めましょう。
※火災・救急の際は、矢祭分署の一般加入電話への通報ではなく、119番(消防指令センター)への通報をお願いします。
「救急車かな?迷ったときは#7119」に電話して。
#7119とは、救急電話相談事業です。突然の病気やけがをしたとき、どうしたらよいかわからない時はありませんか?そんなときは、#7119に電話してください。医療関係者が相談内容から、「救急車の必要はあるのか」「医療機関を受診すべきか」「応急手当の方法」などのアドバイスを行います!



●町内火災・救急件数
(令和6年1月1日～2月15日)

火災件数 1件
救急出動 34件

「火事・救急・救助は119番」

問 棚倉消防署矢祭分署
☎46-2119

■今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～

『ごはんのにおい』

文▶中川ひろたか 画▶岡本よしろう
出版社▶おむすび舎 対象年齢▶幼児～



矢祭町長 佐川 正一郎



"朝食にはごはん！"を推奨する川島隆太教授推薦！（東北大学加齢医学研究所）「朝ごはんがこどもたちの将来を決めます！」朝、ごはんの炊けるにおいで目を覚ました「ぼく」「ああ、いいにおい」ご飯粒がついたほっぺを見ておかあさんが教えてくれたお米にまつわるお話や、どうしてあさごはんを食べると良いのか、ということ。日本人が2000年以上前から食べ続けているごはん。お米の大切さ・ごはんの偉大さが詰まったおいしいごはんのにおいがしてくる絵本。紹介文／おむすび舎（矢祭もったいない図書）

▶食の大切さを伝える絵本です。私たちが毎日食べているごはんは、命の源です。米の文化は、縄文時代に中国大陸から日本へ伝わりました。米は、毎日食べても飽きない。そして、栽培は、連作障害が起きにくい素晴らしい食品です。“ごはんのにおい”は、子ども達が成長する中で、家族と一緒に食事をする一番大切なことを教えています。江戸時代のころは、米が貨幣や税の役割をして社会を創ってきました。また、米の利用は幅広くたくさんの食品になっています。食の文化を大切にしたいものです。

3 月 情報カレンダー

*新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる可能性があります。

[省略]

○…当番医 山開…山村開発センター 館山…館山荘 埴…埴厚生病院 ユ…ユープル矢祭 保セ…保健福祉センター

日	月	火	水	木	金	土
3	4 ●心の相談会 保セ (13:00~16:00)	5	6  ●カンガルーくらぶ	7 ●1歳6か月児健康診査 保セ (13:00~13:10) ●3歳児健康診査 保セ (12:45~13:00)	8  ●カンガルーくらぶ	9
○あらまちクリニック☎33-8018	●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ			
10	11 ●3か月児健康診査 埴 (13:15~13:30)	12  ●カンガルーくらぶ	13 ●マミーサロン 保セ (10:00~15:00)	14 	15 ●カンガルーくらぶ	16 
○つちやクリニック☎43-2250	●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ			
17	18  ●カンガルーくらぶ	19 ●カンガルーくらぶ	20 ○和田医院☎33-2012	21	22  ●カンガルーくらぶ	23 ●カンガルーくらぶ
○東館診療所☎46-2312	●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ				
24	25 ●家族の相談会 保セ (13:00~16:00)	26  ●カンガルーくらぶ	27 ●マミーサロン 保セ (10:00~15:00)	28 	29	30 
○つちやクリニック☎43-2250		●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ			
31	4/1  ●カンガルーくらぶ	2	3 ●カンガルーくらぶ	4	5  ●カンガルーくらぶ	6
○深谷クリニック☎33-3223						